

平成29年度  
事業計画書

公益財団法人佐賀県長寿社会振興財団

## 平成29年度事業計画

### I 理事会・評議員会の開催

#### 1 理事会の開催（定例分のみ）

理事会名	開催予定時期	議題等
第14回理事会	平成29年 5 月	・平成28年度事業報告及び決算について ・その他
第15回理事会	平成30年 3 月	・平成30年度事業計画及び収支予算（案）について ・その他

#### 2 評議員会の開催（定例分のみ）

評議員会名	開催予定時期	議題等
第7回評議員会	平成29年 6 月	・平成28年度事業報告及び決算について ・その他

## II 事項別事業内容

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、関係団体・機関の協力を得て、組織的・総合的に高齢者の社会活動の促進、各世代の高齢者に関する意識の改革等を図り、もってすべての県民が生涯健康で生きがいをもって生活することができる明るい長寿社会の実現に寄与する。

### 1 高齢者の社会活動についての県民への啓発普及事業

#### (1) 啓発普及事業

##### ア ホームページの運営

- ・財団が行う事業等を見やすく分かりやすく紹介

### 2 高齢者の社会活動を推進するための組織の育成事業及び団体等連絡調整事業

#### (1) 佐賀県元気高齢者社会参加活動推進事業

- ・高齢者が地域貢献や社会参加をすることで介護予防
- ・ボランティア活動実績に応じて付与されたポイントを、申請により交付金等と交換できる制度を実施
- ・ポイント活用方法の拡大

#### (2) 高齢者社会活動支援

- ・高齢者が社会活動へ踏み出すための、ミーティング、スキルアップ、調整等を行う拠点を提供する。

### 3 高齢者の社会活動の振興のための指導者等育成事業

#### (1) ゆめさが大学の運営

- ・社会活動に必要な知識の習得、地域活動実践者の養成
- ・地域活動体験学習「やってみよう！」
- ・地域活動への誘導「地域活動相談会」
- ・ICTを体験実習

### 4 高齢者の生きがいと健康づくりのための機会提供・支援事業及び連絡調整の事業

#### (1) さがねりんピックの開催

- ・スポーツを楽しむ高齢者層の拡大
- ・県民体育大会、県障害者スポーツ大会との連携
- ・「第31回全国健康福祉祭とやま大会」派遣選手の選考

#### (2) 全国健康福祉祭への選手派遣

- ・スポーツと文化に積極的に取り組む姿を県内外にアピール
- ・参加選手の更なる意欲の向上のために、全国からの参加選手との交流促進

#### (3) 佐賀県高齢者美術展の開催

- ・佐賀県立博物館で開催することにより、高齢者の創作意欲の一層の喚起
- ・上位入賞作品は、「第30回全国健康福祉祭あきた大会 美術展」へ出品

(4) 佐賀県高齢者囲碁・将棋大会の開催

- ・囲碁、将棋の“腕試し”を通じて、高齢者相互の交流の輪を広げ、生きがいづくりを推進
- ・「第31回全国健康福祉祭とやま大会」派遣選手の選考

5 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報の収集・提供事業及び調査・研究事業

(1) 情報収集提供事業の実施

- ・全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携

## 1 高齢者の社会活動についての県民への啓発普及事業

- ・ホームページの運営・・・財団が行う事業等を見やすく分かりやすく紹介

### (1) インターネットによる情報収集提供事業

インターネットは、今や高齢者の日常生活においても切り離すことのできない情報獲得手段である。財団のホームページを通じて、財団イベント情報などを、分かりやすい内容で紹介する。

#### ア 財団ホームページ

- ・財団の具体的な事業内容等の紹介
- ・各種イベント等の案内、その他各種調査報告書等

#### イ 他機関のホームページとの協調等

以下の機関のホームページとのリンクにより、利用者の利便等を図る。

- ・生涯学習関係機関（アバンセ等）
- ・高齢者向け情報ネットワーク長寿ネット（長寿社会開発センター）
- ・相談機関（弁護士会、社協等）
- ・行政機関（国、県）

## 2 高齢者の社会活動を推進するための組織の育成事業及び団体等連絡調整事業

### (1) 佐賀県元気高齢者社会参加活動推進事業

- ・高齢者が地域貢献や社会参加をすることで介護予防を推進
- ・ボランティア活動実績に応じて付与されたポイントを、申請により交付金と交換できる制度を実施
- ・実施地域を更に拡大

### ア 受託事業

#### (ア) 事業名 サポート事業

#### (イ) 参加対象者

実施する地域に居住している65歳以上（介護保険第1号被保険者）で、要支援・要介護認定を受けていない人

#### (ウ) 活動場所

あらかじめ登録された特別養護老人ホーム、介護老人福祉施設、グループホームなどの受入施設、又は、公民館などで行われる介護予防教室やサロン事業、食生活改善事業

#### (エ) 活動内容

受入施設でのレクリエーション支援、配膳下膳の手伝い、施設催事の手伝い、話し相手（傾聴）や、介護予防教室やサロン事業の運営

#### (オ) 活動の流れ

登録者に活動手帳を配付し活動先のコーディネートを行う。活動に応じて受入機関等から押印されたスタンプはポイントとして貯める（1時間当たり1個、1日2個まで）

#### (カ) 活動評価

スタンプ1個（100ポイント）は100円として、年間5,000ポイントを上限に転換（現金または、指定寄付）。

#### (キ) 事業受託

- ・佐賀中部広域連合
- ・杵藤地区広域市町村圏組合
- ・鳥栖地区広域市町村圏組合・・・新規

#### (ク) 受託内容

活動者の登録管理、受入施設の登録管理、活動ポイントの転換交付研修会の開催（知識の習得及び登録者同士の交流を図る）

## イ 推進事業

全県的な取り組みを推進するため、各市町の介護保険担当課、各保険者と連絡調整を行う。

### (ア) 県内未実施地区との連絡調整

- ・伊万里市、有田町、玄海町との連絡調整
- ・各市町で実施の介護予防事業把握とポイント制度への取組を検討

### (イ) 既存事業の拡充に向けた検討

- ・病院、障害者施設、児童施設など受入機関の拡充
- ・物品などポイントの交換の拡充

## ウ 普及啓発事業

- ・市町役場、公民館にパンフレット・ポスターの配布
- ・登録者向け研修会を実施し、知識の習得及び登録者同士の交流を図る
- ・一般向け講演会を実施し、事業の周知と新規登録者の募集を図る

## (2) 高齢者社会活動支援

高齢者がこれまで培ってきたそれぞれのキャリアを活かして社会活動へ踏み出すために、ミーティング、スキルアップ、調整等を行う拠点として、佐賀県在宅生活サポートセンターの研修室、会議室の場所の提供を行う。

### 3 高齢者の社会活動の振興のための指導者等育成事業

#### (1) ゆめさが大学

- ・社会活動に必要な知識の習得、地域活動実践者の養成
- ・地域活動体験学習「やってみよう！」
- ・地域活動への誘導「地域活動相談会」

#### ア 事業の概要

目 的	高齢者の積極的な地域活動への参加を促し、自ら生きがいのある豊かな人生を創造できるよう、学習を通じて能力の再開発を援助するとともに、高齢社会における地域活動リーダーの養成を図る。
定 員	690人 佐賀校 基礎課程 140人 実践課程 140人 大学院 140人 唐津校 基礎課程 50人 実践課程 50人 大学院 50人 鹿島校 基礎課程 60人 実践課程 60人
対 象	おおむね60歳以上 学習に熱意があり、卒業後地域活動を行いたい方 ※大学院はゆめさが大学（佐賀県高齢者大学）卒業生であること
講 師	約180人（県内の有識者、地域活動実践者、大学、行政など）
開設場所	佐賀校 アバンセ 唐津校 りふれ 鹿島校 かたらい 佐賀校大学院 アバンセ 唐津校大学院 りふれ
受講料等	入学金 10,285円 受講料 36,000円 （消費税を含む）
年間講義数	佐賀校 基礎課程 30日×2講義×2クラス=120講義 実践課程 30日×2講義×2クラス=120講義 唐津校 基礎課程 30日×2講義=60講義 実践課程 30日×2講義=60講義 鹿島校 基礎課程 30日×2講義=60講義 実践課程 30日×2講義=60講義 佐賀校大学院 30日×2講義×2クラス=120講義 唐津校大学院 30日×2講義=60講義
学習内容	○基礎課程 新しい仲間とともに地域活動に必要な知識を学ぶ ○実践課程 実技や演習等グループ実践活動を取り入れた学習 ○大 学 院 2年間で学習できなかった分野を学習  各課程とも、地域活動の実例、活動受入団体等に関して積極的に情報提供し、地域活動実践への誘導を図る。



イ カリキュラム

(ア) 【基礎課程】 1年次 30日間 合計120時間

基礎知識の習得のための学習

地域活動の基礎知識	高齢者の役割と知識、高齢者を取り巻く環境 ボランティアとは、コミュニケーションの方法 地域ボランティアの実際、地域活動相談会
現代社会の動き	時事問題、身近な環境問題、身近な財産管理 安全なスマートフォン利用
ふるさとを知る	佐賀県のすがた、ふるさとの歴史
健康の増進	身体と健康、食事と健康
文化に親しむ	文化活動

(イ) 【実践課程】 2年次 30日間 合計120時間

歴史、文化などの体験学習で、地域活動のノウハウを学ぶ

地域活動の実践	地域リーダーの役割と知識、地域活動の実際 サークルの主宰者に学ぶ、地域活動相談会
ふるさとを知る	ふるさとの歴史、ふるさとの文化の形成
文化芸術に親しむ	文化に親しむ、芸術に親しむ
健康と福祉	健康の維持、福祉の知識
やってみよう (体験学習)	地域活動の実践、演習 活動の例 ・歴史施設等ガイドボランティア ・子育て支援ボランティア ・高齢者福祉施設訪問 など
地域活動相談会	シニアの活動を受け入れる団体と、学生が直接面接 して、団体に参加する等の活動につなげる。 団体の活動内容のプレゼンテーションと、個別相談 会

(ウ) 【大学院】 30日間 合計120時間

地域の特色を活かした分野をさらに深く学習

老年学	いきいきと生きる、身体と健康、介護の知識、宗教
現代社会の動き	環境問題を考える、世界の中の日本 タブレット・インターネット体験 地域での新たな取り組み、地域の活性化を考える 地域活動グループの活動、地域活動相談会
ふるさとを知る	ふるさとの歴史（近代・現代） ふるさとの自然と文化
地域活動相談会	団体の活動内容のプレゼンテーション、個別相談会

#### 4 高齢者の生きがいと健康づくりのための機会提供・支援事業及び連絡調整事業

##### (1) さがねんりんピック2017

- ・スポーツを楽しむ高齢者層の拡大
- ・県民体育大会、県障害者スポーツ大会との連携
- ・「第31回全国健康福祉祭とやま大会」(平成30年開催)への派遣選手の選考会

##### ア 期 日

平成29年10月1日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、29日(日)  
11月4日(土)、5日(日)

##### イ 参加予定 2,000人

##### ウ 合同開会式

佐賀スポーツフェスタ2017 合同開始式

(「佐賀県民体育大会」「佐賀県障害者スポーツ大会」「さがねんりんピック」)

(ア) 日 時 平成29年10月14日(土)

(イ) 会 場 伊万里市民センター文化ホール(伊万里市)

(ウ) 参加選手 さがねんりんピック「太極拳大会」参加選手

##### エ 実施種目

選考会	種 目	会 場	主管団体	10月					11月	
				1日(日)	14日(土)	15日(日)	21日(土)	29日(日)	4日(土)	5日(日)
全国健康福祉祭富山大会選考会を兼ねる	卓球	佐賀市立体育館	佐賀県卓球協会					○		
	テニス	森林公園テニスコート	佐賀県テニス協会				○			
	ソフトテニス	森林公園テニスコート	佐賀県ソフトテニス連盟				○			
	ソフトボール	健康運動センター	佐賀県ソフトボール連盟		○	○				
	ペタンク	佐賀市民運動広場	佐賀県ペタンク協会	○						
	マラソン	佐賀県総合運動場	佐賀陸上競技協会			○				
	弓道	唐津市文化体育館弓道場	佐賀県弓道連盟			○				
	剣道	国見中体育館	佐賀県剣道連盟			○				
	グラウンド・ゴルフ	佐賀県総合運動場球技場	佐賀県グラウンド・ゴルフ協会				○			
	太極拳	伊万里小学校体育館	佐賀県武術太極拳連盟		○					
	軟式野球	大和中央公園自由広場	佐賀県軟式野球連盟						○	○
	パークゴルフ	神水川パークゴルフ場	佐賀市パークゴルフ協会					○		

##### オ 実施方法 競技主管団体へ委託

委託料 52,000円

## (2) 全国健康福祉祭への選手派遣

- ・スポーツと文化に積極的に取り組む姿を県内外にアピール
- ・参加選手の更なる意欲の向上のため、全国の参加選手との交流を促進

### ア 大会概要

- (ア) 大会名称 第30回全国健康福祉祭あきた大会
- (イ) 愛称 ねんりんピック秋田2017
- (ウ) 主催 厚生労働省・秋田県・一般財団法人長寿社会開発センター
- (エ) 共催 スポーツ庁
- (オ) 大会テーマ 秋田からつながれ！つらなれ！長寿の輪
- (カ) 会期 平成29年9月9(土)～12日(火)
- (キ) 会場 秋田県内13市4町1村
- (ク) 大会規模 延べ約50万人（観客含む。）

### イ 選手派遣

#### (ア) 派遣種目

##### a スポーツ 15種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク  
マラソン、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、軟式野球  
パークゴルフ、サッカー、ラグビーフットボール

##### b 文化 4種目

囲碁、将棋、健康マージャン、美術展作品(6点)

(イ) 派遣予定人員 125人

(ウ) 派遣期間 平成29年9月8日(金)～12(火)

#### (エ) 選手の決定

さがねんりんピック2016の成績等による各競技団体の推薦に基づき決定

### ウ 派遣選手への助成

(ア) 助成額(上限) 30,000円/人

#### (イ) 対象経費

交通費、宿泊費、大会参加費、選手団統一ユニフォーム購入費

### (3) 佐賀県高齢者美術展

- ・佐賀県立博物館で開催展示することにより、高齢者の創作意欲の一層の喚起
- ・各部門佐賀県知事賞作品は、「第30回全国健康福祉祭あきた大会 美術展」に出品

ア 期 日 平成29年4月27日(木)～30日(日)

イ 会 場 佐賀県立博物館 3号展示室

ウ 作品部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

エ 出品資格 県内在住の60歳以上のアマチュア

オ 授 賞

佐賀県知事賞、佐賀県議会議長賞、佐賀県芸術文化協会賞

佐賀県長寿社会振興財団理事長賞、佐賀県老人クラブ連合会会長賞 各1点

佳作 各3点

カ 出品見込 200点

キ 出品料 1,500円/点

### (4) 佐賀県高齢者囲碁・将棋大会

- ・囲碁、将棋の“腕試し”を通じて、高齢者相互の交流の輪を広げ、生きがいをづくりを推進
- ・成績上位者は「第31回全国健康福祉祭とやま大会」へ派遣

ア 期 日 平成30年2月予定

イ 会 場 アバンセ

ウ 種 目

(ア) 囲 碁

a 上級者の部(三段以上)、b 中級者の部(初段、二段)

c 初級者の部(初段未満)、d 女子の部

(イ) 将 棋

a 上級者の部(三段以上)、b 中級者の部(初段、二段)

c 初級者の部(初段未満)

エ 出場資格 県内在住の60歳以上のアマチュア

オ 参加予定 囲碁 60名 将棋 40名

カ 参加料 1,500円

## 5 高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報の収集・提供事業及び調査・研究事業

### (1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の発展向上と、各都道府県推進機構相互間の情報交換や事業推進等について、全国的な意見交換・協議の場として設置された本協議会と連携をもち、より一層の効果的事業展開を図る。

会 議	全国明るい長寿社会づくり推進協議会総会（7月、2月）
研 修 会	テーマ別実務研修（11月）
そ の 他	九州ブロック連絡会議・実務者会議（2月）